



ふくしま創生の一翼に！！

当財団は、「産業技術基盤の強化に必要な業務を効果的に行うことにより、高度技術に立脚した工業開発を促進し、もって郡山地域テクノポリスの形成、ひいては福島県産業の振興に寄与すること」を目的に設立され、本年度で財団設立30周年、ものづくりインキュベーションセンターが開設して10周年を迎えます。

東日本大震災及び原子力災害から5年が経過し、圏域内では、再生可能エネルギーに関する世界最先端の研究が行われている産総研「福島再生可能エネルギー研究所」が開所したのを皮切りに、国内初となる大型動物の飼育実験機能を備えた「ふくしま医療機器開発支援センター」や、国際原子力機関、日本原子力研究開発機構、国立環境研究所と連携した「福島県環境創造センター」が本年の開所を予定しており、国内を代表する研究機関が次々に開所予定です。

また、「工業団地の造成」「新駅の整備」「スマートインターチェンジの設置」等、インフラ・交通体系の整備も進められ、これまで以上に当圏域が「ヒト、モノ、カネ、情報、技術」の交流結節点となり、新事業・新産業創出に適した地域として、「新しい福島の未来」を創造していく先駆的な地域になりつつあります。

こうした状況を踏まえ、当財団がこれまで取り組んできた「医療・福祉機器」や「再生可能エネルギー」等の重点分野を継続しつつ、「郡山地域ものづくりインキュベーションセンター」を拠点に、圏域企業の研究開発の促進、新事業の創出育成、技術の高度化やそれを担うものづくり人材の育成などに、積極的に取り組んでまいりたいと考えています。

さらに、当財団の強みである日本大学と連携したフォーラムの開催、企業間連携（アライアンス）の強化、民間出身の技術者によります財団体制の充実等、ものづくり企業の支援を図り、「ふくしま創生」の一翼となるべく、邁進してまいります。

平成28年4月

公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構
常務理事 齋藤 隆

平成27年度 第4回理事会報告

平成28年3月22日（火）午前11時から、当財団の平成27年度第4回理事会がビッグパレットふくしま内の会場で開催されました。

同理事会では、平成28年度の事業計画並びに当初予算を始めとする7議案が審議されてすべて可決・承認されました。



郡山地域ものづくりインキュベーションセンター 入居者募集のお知らせ

現在、「起業支援室（事務室タイプ）」が2室、空室となっております。研究開発、新事業展開、起業化を目指す方は、ぜひお問合せください。

入居対象者：主として製造業を営む中小企業者で、福島県内、特に郡山地域テクノポリス圏域（郡山市、須賀川市、鏡石町、石川町、玉川村、三春町の2市3町1村）の産業振興への寄与が期待され、大学等との共同研究開発等を通じて、新たな事業の創出の促進に貢献すると認められる方（個人、法人を問いません）を対象としています。



お問合せ
下さい



【詳しくは、事務局までお問合せください】

（公財）郡山地域テクノポリス推進機構

TEL 024-947-4400 FAX 024-947-4475

担当：猪股・佐藤（彰）

第2回 消防訓練を終えて

当ものづくりインキュベーションセンターの消防計画に基づき、第2回消防訓練を去る3月10日（木）午後4時から職員3名と入居者の皆様5名の併せて8名で実施いたしました。

今回は、夜間の火災発生を想定した通報訓練を行いました。当センターは夜間においては職員が不在になり、入居者自身で通報に当たるようになるため、参加者全員が通報について、理解を深めることを目的としました。

この訓練では、入居者を代表して10号室の水野睦夫さんが郡山消防署に119番通報し、火災発生状況を的確に知らせることができました。また、通報場所の特定が難しい携帯電話からの通報に際しては、その留意事項の説明も併せて行いました。



通報訓練
（水野睦夫氏）



初期消火
（水野隆之氏）



平成27年度イノベーションテクノロジーフォーラム 第2回ボードメンバー会議開催報告

平成28年3月17日(木)午後4時から、ものづくりインキュベーションセンター会議室において、「当フォーラムのボードメンバー企業」「ものづくりインキュベーションセンター入居者」「金融機関」などの方々を対象に、当フォーラムのサブコーディネーターを務めております日本大学工学部の先生方5名から、「研究内容」や「地域企業の産業・事業へ貢献できると考える研究課題」等について、発表をいただきました。

その後、サブコーディネーターの先生方と参加企業の皆様で「当フォーラムの進め方」や「今後の共同研究推進の可能性」等について、意見交換を行いました。

企業側からは、『企業側のニーズと大学側の研究内容をどのようにマッチングさせるか』『他地域の失敗事例を踏まえた郡山地域での産学連携、企業間連携方法』等、活発な質疑がなされました。

新年度につきましても、今回のボードメンバー会議の内容を踏まえ、当圏域企業の一層の技術力向上が図られるよう、イノベーションテクノロジーフォーラムを開催していく予定です。



企業連携のはじめの一歩、そして新製品誕生へ —郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議・ 企業製品発表会(プレゼン会)—

平成28年2月25日(木)午前10時30分から、ビッグパレットふくしま内の会場で当形成会議の更なるアライアンス(企業間連携)を推進するため、会員同士の企業製品発表会(プレゼン会)を行いました。今回は前回は上回る39名が参加、郡山市からは品川市長もお見えになり、御挨拶いただきました。

プレゼン会では、神田産業株式会社が前回プレゼンいただいた「ハニリアルボード」をもとに当財団と協議のうえ、新製品として「ハニリアルボード製バックパネル」を完成させ、会場で初披露を行いました。今後は、改良を加えながら商品化に向け検討を重ね、販路拡大を目指すそうです。

次に、株式会社北斗型枠製作所と株式会社アイワコーポによる企業紹介が行われ、北斗型枠製作所の遠藤社長は自社独自の人材育成の取り組みを紹介し、毎年社員全員が参加して制作するPR動画を披露しました。

アイワコーポの鈴木社長は、会場に多くの自社製品を展示したほか、当財団の研究開発助成事業の採択を受け開発中の浅部地中熱用のFCU(ファンコイルユニット)について、説明いただきました。

今回のプレゼン会は5月20日(金)を予定しております。より多くの企業の皆様のご参加をお待ちしております。



新製品のバックパネルの前に
品川郡山市長が挨拶



多種製品を展示した(株)アイワコーポ

日本大学工学部 市民公開シンポジウム 第5回ロハスの工学シンポジウム 報告

平成28年3月19日(土)午後1時から、日本大学工学部70号館で、日本大学工学部工学研究所主催・郡山市等の共催で、「ロハシティ郡山の実現を目指して—再生可能エネルギー戦略を考える—」について市民と考える『市民公開シンポジウム』が開催され、学生、企業関係者、市民ら約150名が参加されました。

基調講演では、品川郡山市長が『郡山のロハス政策について』と題し、誰もが活躍できる多様な社会を目指すために、郡山市の現状と取り組みについて講演され、出村日本大学工学部長は『ロハスの工学への期待』と題し、ロハス工学の考え方などについて講演されました。

引き続き、日本大学工学部工学研究所次長 柿崎隆夫教授、郡山市生活環境部長 吉田正美氏、産総研FREA所長代理 坂西欣也氏、日商テクノ株式会社専務取締役 小川典子氏がそれぞれの立場で、事業の取り組みについて話題を提供しました。

その後、進行を務めたラジオ福島の菅原美智子アナウンサーがコーディネーターとして、上記話題提供者とともに、パネルディスカッションを行いました。



出村日本大学工学部長の挨拶



品川郡山市長の講演



パネルディスカッション

